

解題 「新聞倫理綱領」の中国語訳文について

張 新 慧*

はじめに

日本新聞協会の「新聞倫理綱領」は戦後1946年7月23日に制定し公表され、その後の1955年5月15日に一部修正が加えられた。そして2000年6月21日には大幅に改定された。本稿では便宜的に前者を「旧・新聞倫理綱領」と後者を「新・新聞倫理綱領」と称する。

新聞倫理に関する研究は中国大陸より台湾が先行した。「新聞倫理綱領」の中国語訳文（「旧・新聞倫理綱領」）は筆者の知る限りにおいては台湾の研究者尤英夫の訳文が初めてであろうと考えられる。この訳文は1967年に台湾の国立政治大学定期刊行物『新聞學研究』で発表された。

これに対して中国大陸の新聞倫理に関する研究はだいぶ遅れた。筆者の知る限りにおいては1984年の『新聞学簡明詞典』に載せられた「新聞倫理綱領」が初めての中国語訳であろう。この『新聞学簡明詞典』は1984年に余家宏、寧樹潘、徐培汀等編集で浙江人民出版社より出版された。「日本新聞協会1946年7月23日制定，1955年5月5日修订。全文分七章：（一）新闻自由；（二）新闻与评论的界限。“报道的基本原则为正确和忠实地传达事件的真相”，“绝对不应插入记者个人意见”；（三）评论的态度。“评论应不作阿谀之言”，要“善尽言责，而使报纸为社会公器这一本质得高度的发扬”；（四）公正；（五）宽容；（六）指导，责任，矜持；（七）品格。」と「旧・新聞倫理綱領」を簡単に紹介した。その後「旧・新聞倫理綱領」はいくつかの訳文が研究者によって以下のように公表されている。

表1 「旧・新聞倫理綱領」の中国語訳文について 筆者 2014

翻訳者・編集者	出版年	掲載刊行物
余家宏、寧樹潘、徐培汀等	1984年	『新聞学簡明詞典』
張国良	1992年	『現代日本大衆伝播史』
周鴻書	1995年	『新聞倫理学論綱』
王瑞明	1996年	『中国新聞实用大辞典』
梁閔	1998年	「日本新聞媒介的自律与他律」 『国際新聞界』
王亜光	1999年	「日本新聞協会印象」『新聞伝播』
藍鴻文	1999年	「新聞倫理及其他 日本新聞協会国際 部長中島源吾訪談録」 『国際新聞界』
王大龍	1999年	「輿論監督者の自我監督—亜洲四国新聞 職業道德規範比較」 『中国記者』
胡興榮	2004年	『新聞哲学』
李衍玲	2008年	『新聞倫理与規制』

*チャン シンホイ (Zhang Xinhui) 日本大学大学院新聞学研究科博士後期課程

また、「新・新聞倫理綱領」については藍鴻文、龍一春などの研究者によっていくつかの訳文が下記のように公表されている。

表2 「新・新聞倫理綱領」の中国語訳文について 筆者 2014

翻訳者・編集者	出版年	掲載刊行物
藍鴻文	2001年	『新聞理論学簡明教程』
周建明	2001年	「一個綱領一個宣言 跨入新世紀的日本新聞界自律規範」 『国際新聞界』
龍一春	2006年	『日本媒体体制創新』
郎劲松	2007年	『伝媒倫理学導論』

本資料解題は新、旧「新聞倫理綱領」を対象とし、その訳文について検証するものである。

以下各項目に分け原文と中国語の訳文を併記し、訳の当否を検討すると共に、筆者の試訳を提示し、「新聞倫理綱領」の中国語訳に関心をも持つ日本及び中国語圏の研究者の参考に供したい。

「旧・新聞倫理綱領」の中国語訳については主に3つのバージョン⁽¹⁾があり、ここでは周鴻書、梁関と王亜光三人の中国語訳を挙げる。また「新・新聞倫理綱領」については主に2つのバージョン⁽²⁾があり、ここでは藍鴻文、龍一春の中国語訳を提示することにしたい。

1. 「旧・新聞倫理綱領」の訳文について

旧・新聞倫理綱領（1946年7月23日制定・1955年5月15日補正）

日本を民主的平和国家として再建するに当たり、新聞に課せられた使命はまことに重大である。これを最もすみやかに、かつ効果的に達成するためには、新聞は高い倫理水準を保ち、職業の権威を高め、その機能を完全に発揮しなければならない。

この自覚に基づき、全国の民主主義的日刊新聞社は経営の大小に論なく、親しくあい集って日本新聞協会を設立し、その指導精神として「新聞倫理綱領」を定め、これを実践するために誠意をもって努力することを誓った。そして本綱領を貫く精神、すなわち自由、責任、構成、気品などは、ただ記者の言動を律する基準となるばかりでなく、新聞に関係する従業者全体に対しても、ひとしく推奨さるべきものと信ずる。

以上の部分についての訳は見当たらなかったため、ここでは筆者の訳を提示する。

筆者試訳：

《旧・新闻伦理纲领（1946年7月23日制定 1955年5月15日补正）》

在日本作为民主和平国家重建之际，报纸被赋予了极其重大的使命。为迅速并有效地实现日本重建的目标，报纸应该保持伦理的高水准、提高职业权威、使得其机能完全发挥。

以这样的自我认知为基础，不论经营规模的大小，全国民主主义的日刊报社在此共同建立日本新闻协会，并制定《新闻伦理纲领》作为此协会的指导精神，为践行这一纲领能真挚地付出努力而起誓。我们相信在贯彻本纲领时，所提及的自由、责任、构成以及品格等，并不仅仅用来制约记者的言行，

也应平等地鼓励全体新闻工作人员践行。

第1 新聞の自由

公共の利益を害するか、または法律によって禁ぜられている場合を除き、新聞は報道、評論の完全な自由を有する。禁止令そのものを批判する自由もその中に含まれる。この自由は実に人類の基本的権利としてあくまでも擁護されねばならない。

周鴻書訳：

新聞自由 报纸报道新闻或发表评论，除非妨碍公共利益，或受法律明文禁止，应享受充分的自由，包括评论任何特定法规是否得当的自由在内。报纸所具有的权利，应视为一项基本人权，予以维护。

梁関訳：

新聞自由 除有损公益或法律所禁止的情况外，新聞拥有报道、评论之完全自由。

王亜光訳：

新聞自由 除了损害公共利益和法律禁止的情况下，新聞有报道和评论的完全自由。

第1『新聞の自由』にある日本語の「新聞」の訳については、「新聞」と「报纸」が混在している。表題にある「新聞の自由」はプレスの意味で「新聞」と訳し、文中の「新聞」は「报纸」と訳している。筆者はこうした解釈が妥当だと考えて試訳した。また、「禁止令そのものを批判する自由もその中に含まれる」については、周だけが訳している。

筆者試訳：

第1 新聞自由 除妨害公共利益和法律禁止事项以外，报纸享有完全的自由进行报道、发表评论。对法律本身进行批判的自由也包含在内。这里所说的自由作为一项基本人权，应该得到完全的尊重和保护的。

第2 報道、評論の限界

報道、評論の自由に対し、新聞は自らの節制により次のような限界を設ける。

イ 報道の原則は事件の真相を正確忠実に伝えることである。

ロ ニュースの報道には絶対に記者個人の意見をさしはさんではならない。

ハ ニュースの取り扱いに当たっては、それが何者かの宣伝に利用されぬよう厳に警戒せねばならない。

ニ 人に関する批評は、その人の面前において直接語りうる限度にとどむべきである。

ホ 故意に真実から離れようとするかたよった評論は、新聞道に反することを知るべきである。

周鴻書訳：

报道新闻与撰写社论的范畴

报道新闻与撰写社论，其自由应遵守下列各项自我约束。

1、报道新闻的基本守则，对于所叙述的事必须正确与信实。

- 2、记者报道新闻，决不可掺入个人意见。
- 3、在处理新闻之际，应永远切记并严密注意，勿使此等新闻受人利用达到其宣传目的。
- 4、对于别人的批评，应以能在其面前直接表示者为限。
- 5、撰写评论，故意违反事实以党同伐异，实在违反优良的报业精神。

梁閔訊：

新闻与评论的界限。新闻报道的基本原则为正确和忠实地传播事件的真相，绝对不应掺杂记者个人意见，勿使新闻被人利用意达到其宣传之目的，对于他人的批评应以能在他人面前直接进行者为限，撰写评论时故意违反事实以党同伐异是有违优良报业精神的行为。

王垂光訊：

报道与评论的界限

- ① 报道的原则要正确，忠实事件的真相；
- ② 消息的报道绝对不能掺杂记者个人的意见；
- ③ 消息的处理必须注意不能被任何人所利用；
- ④ 报纸上对人的批评要达到能与被批评者坦率交谈的程度；
- ⑤ 故意脱离真实的评论是违反新闻法规的。

第2『報道、評論の限界』の「ホ」に「新聞道」という用語があるが、それを周と梁は「报业精神」と訳し、王は「新闻法规」と訳している。前者は倫理的側面からの解釈であるが、後者は法律的側面を重視していると言える。筆者は両側面の意味を含め「办报之本」と訳している。

また、「ニュース」については、王だけが「消息」と訳しているが、梁と周は「新闻」と訳した。『現代漢語詞典 第5版』⁽³⁾によれば、「消息」と「新闻」の違いについて、「消息」は「关于人或事物情况的报道」であり、「新闻」は「报社、通讯社、广播电台、电视台等报道的消息」また「泛指社会上最近发生的事情」と解釈している。

原文に「ニュースの報道…」及び「ニュースの取り扱い…」という言葉遣いがあるので、ここでは「新闻」と訳したほうがよいだろうと考え、筆者は「ニュース」を「新闻」と訳した。

筆者試訳：

第2 报道评论的界限 与报道和评论的自由相对而言，报纸自身应受到如下的约束：

- ・ 所谓的报道的原则，应遵从事实，正确地传递信息。
- ・ 新闻报道绝对不能掺杂记者个人的意见。
- ・ 在处理新闻时，应警惕不要被任何以宣传为目的的人或组织利用。
- ・ 对他人提出批评时，应当正面指出。
- ・ 应该持有“故意发表偏离真实的有偏颇的评论，是违反了办报之本”的意识。

第3 評論の態度

評論は世におもねらず、所信は大胆に表明されねばならない。しかも筆者は常に、訴えんと欲しても、その手段を持たない者に代わって訴える気概をもつことが肝要である。新聞の高貴たる本質は、この点に最も高く発揚される。

周鴻書訳：

评论原则 评论应为撰写个人信念的直率表现，而非阿谀取媚的言辞。更有甚者，撰写人在撰写评论时，应秉持服务公众的精神，成为那些没有机会发表意见者的代言人。报纸具有社会大众工具的特色，应在这方面，尽力发挥。

梁闕訳：

评论的态度。评论不该趋炎附势，而应大胆表明所持信念，使报纸发挥作为社会公器的特性。

王垂光訳：

评论的态度。评论不能趋炎附势。必须大胆表明自己的观点，这是新闻的一项基本公德，必须大大发扬。

ここの「評論の態度」に対して周が「评论原则」と訳し、梁と王は「评论的态度」と訳した。だが、「观点」または「立場」との中国語でもよいのではないかと考える。また、日本語と中国語いずれも「態度」という語彙があって、そのまま「态度」と訳しても問題はないと思われるため、筆者は「态度」を採用した。そして、「所信」を周と梁は「信念」と訳している。筆者も「信念」を採用した。また、「高貴たる本質」の訳については三者三様である。筆者は「高贵的品质」と訳したが、「高貴」という日本語の概念について今後も理解を深め、引き続き適訳を考えて行きたい。

筆者試訳：

第3 评论的态度 发表评论时不能趋炎附势，要勇于表明信念。另外，报道者应该时常站在想要公开发表言论，却缺少平台的人的立场上。具有代表大众申诉的气魄十分重要。发扬报纸高贵的品质，正在于此。

第4 公正

個人の名誉はその他の基本人権と同じように尊重され、かつ擁護されるべきである。非難された者には弁明の機会を与え、誤報はすみやかに取り消し、訂正しなければならない。

周鴻書訳：

公正 每一个人的名誉，应视与其他基本人权相同，须受到尊重与保护。对遭受批评者，应予以为其自己辩护的机会。报纸一旦接获通知指出某文内容不当，应立刻停止这一错误的继续发生，并加以更正。

梁闕訳：

公正。应尊重和维护公众个人名誉，给与被谴责者以辩解的机会。

王垂光訳：

公正。个人名誉作为基本人权同样应该给与尊重和拥护，要给被批评者以申辩的机会，误报的必须迅速取消和订正。

ここの「弁明」について、周は「辩护」、梁は「辩解」、王は「申辩」と訳し、ここも三者三様である。これは、いわゆるその後の「反論権」につながるもので、筆者は「申辩」と訳した。

筆者試訳：

第4 公平 个人名誉作为基本人权应该得到尊重和保护。应该给与受批判的一方申辩的机会。若出现误报，应及时尽快进行更正。

第5 寛容

みずから自由を主張すると同時に、他人が主張する自由を認めるという民主主義の原理は、新聞編集の上に明らかに反映されねばならない。おのれの主義主張に反する政策に対しても、ひとしく紹介、報道の紙幅をさくがごとき寛容こそ、まさに民主主義新聞の本領である。

周鴻書訳：

容忍 民主的基本原则，乃在承认个人有表示正、反意见的自由，在处理新闻时，对此应予明白反映。民主报纸的基本特色，乃在容忍。譬如，用以刊载该报所反对的政策之篇幅，应与刊登该报所支持的政策所有之篇幅相等。

梁閔訳：

寛容。对于意见相反的主张、政策应同样予以报道。

王亜光訳：

寛容。在主张自由的同时，对反对自己主张的政策在报道上要寛容，民主报纸的特色在于容忍。

「寛容」について、周は「容忍」、梁は「寛容」と訳し、王は「容忍」と「寛容」両方使っている。「容忍」と「寛容」の違いは「容忍」が「我慢する」意味が含まれるので、「寛容」が妥当ではないかと考え、筆者は「寛容」にした。また、「民主主義の原理」について周は「民主的基本原则」と訳している、梁と王は言及していない。筆者は日本語原文の「民主主義原理」をそのまま使用した。

筆者試訳：

第5 寛容 “在主张自由的同时，也应该认可他人提出的自由”这一项民主主义原理，也应该在报纸编辑时得到体现。对于不同于己见的政策，寛容地匀出版面进行平等地刊登、报道。即民主办报的本质的体现。

第6 指導・責任・誇り

新聞が他の企業と区別されるゆえんは、その報道、評論が公衆に多大な影響を与えるからである。公衆はもっぱら新聞紙によって事件および問題の真相を知り、これを判断の基礎とする。ここに新聞事業の公共性が認められ、同時に新聞人独特の社会的立場が生まれる。そしてこれを保全する基本的要素は責任観念と誇りの二つである。新聞人は身をもってこれを実践しなければならない。

周鴻書訳：

指導、責任、荣誉 报纸与其他商业性企业的主要差异乃是：报纸报道新闻及发表社论，对于社会有

极大的影响力。公众的消息来源以及据以判断事件与问题的基础，均以报纸为主。新闻事业的社会性质与新闻记者的特殊社会地位，即因此种特性而产生。新闻记者认识其所负责任与所享荣誉，对于确保其特殊地位至为重要。每一位新闻记者，对此二者务须有明确的认识。

梁闕訳：

指导、责任、荣誉。新闻以其报道、评论给公众以极大的影响，因此新闻记者须有责任感和荣誉感。

王垂光訳：

指导、责任和表彰。新闻和其他企业的区别在于其报道评论对公众有很大影响，公众根据报纸了解事件和问题的真相。以此作为判断是非的基础，因此认为新闻事业有公众性，同时，新闻人的独特的社会立场也产生了。因此，要有责任感和荣誉感，新闻人必须亲身实践。

ここで注目されるのは、原文の「新聞」と「新聞紙」の使い分けである。明らかにここでの「新聞」は広義の意味で使用されていると考えられるため、冒頭の「新聞」は「报纸」ではなく、「新聞」と訳されるのが適切であろう。ただ、筆者は「ほかの企業との区別…」という文言が続くので、「报纸」と訳した。また、「新聞人」に対する訳し方はそれぞれ異なる。周と梁は「新闻记者」を使い、王は「新闻人」を用いた。ここでは筆者は現在中国において普遍に使われる「新闻从业人员」という言葉を使うことにした。

筆者試訳：

第6 指导・责任・荣誉 报社区别于其他企业之处在于，报纸的报道和评论给予大众的影响非常之大。公众主要基于报纸，来了解事件以及问题的真相，并进行判断。新闻事业的公共性由此被认知，同时，新闻从业人员独特的社会地位也由此产生。“责任观”和“荣耀”是确保其地位的两个基本要素。新闻从业人员应该以身作则。

第7 品格

新聞はその有する指導性のゆえに、当然高い気品を必要とする。そして本綱領を実践すること自体が、気品を作るゆえんである。その実践に忠実でない新聞および新聞人は、おのずから公衆の支持を失い、同志の排斥をこうむり、やがて存立を許されなくなるであろう。ここにおいて会員は道義的結合を固くし、あるいは取材の自由を保障し、または製作上の便宜を提供するなど、互いに助け合って、倫理水準の向上保持に努めねばならない。かくて本綱領を守る新聞の結合が、日本の民主化を促進し、これを保全する使命を達成すると同時に、業界を世界水準に高めることをも期待するものである。

周鴻書訳：

严正 因报纸对公众意见有其影响力，故报纸本身必须具有严正庄重的气概。遵守以上所述各项原则，即可臻于这种严正庄重的境界。报纸与记者，如果疏于遵守前面所提及的原则，就会招致其他报纸与记者的公开谴责与唾弃。其结果是，这一报纸与记者将无法执行其工作。因此，本协会全体会员应同舟共济，确保新闻采访不受妨碍，以及彼此在报业经营上的相互协助，致力于同业的合作，并维持高度的道德标准。于是，严守此等报业信条的新闻协会，当能加速并保证日本走向民主，同时提高

日本报纸的地位，使之臻于世界水准。

梁関訳：

品格。记者应实践本纲领，造就高尚风格。

王亜光訳：

品格。新闻有指导性，当然要有很高的品位，应在实践本纲领的过程中来提高品位。在实践中失实的新闻和新闻人就会失去公众的支持，受到同志的排斥，这种现象是不允许存在的。在这里，会员要巩固道义上的结合，保障采访的自由，提供制作上的方便，互相配合，努力保持一定高度的伦理水平。遵守《新闻伦理纲领》的新闻媒体的结合，对促进日本民主化达到新闻的使命的同时，也期待着达到世界同行的水平。

第七「品格」に対して「严正」と「品格」の二つの訳し方があった。周が「严正」を使っている他は、筆者も含め「品格」と訳している。「品格」も前述した「高贵」と同じように訳語の選択に迷うものである。それに続く「気品」について周は「气概」、梁は「风格」、そして王は「品位」を使っているのに対し、筆者は「风度」を使った。この「気品」という日本語訳についても今後とも適訳を考えていきたい。

筆者試訳：

第7 品格 报纸正因为具有指导性，所以必须具有良好的风度。在实践本纲领时，良好的风度应得到培养。不能很好地实践的单位及其工作人员，则会失去公众的支持、遭到同事、同行的排斥，终究将会无法立足。会员应在道义上的结合、保障采访的自由、制作上提供权宜等措施，来互相帮助，为伦理水平更加向上发展而作出努力。如此，遵守本纲领的报纸的结合，能够促进日本民主化的进步。在完成此使命的同时，也期待日本的报业能够达到世界水平。

2. 「新・新聞倫理綱領」の訳文について

「新・新聞倫理綱領」

21世紀を迎え、日本新聞協会の加盟社はあらためて新聞の使命を認識し、豊かで平和な未来のために力を尽くすことを誓い、新しい倫理綱領を定める。

国民の「知る権利」は民主主義社会をささえる普遍の原理である。この権利は、言論・表現の自由のもと、高い倫理意識を備え、あらゆる権力から独立したメディアが存在して初めて保障される。新聞はそれにもっともふさわしい担い手であり続けたい。

おびただしい量の情報が飛びかう社会では、なにが真実か、どれを選ぶべきか、的確で迅速な判断が強く求められている。新聞の責務は、正確で公正な記事と責任ある論評によってこうした要望にこたえ、公共的、文化的使命を果たすことである。

編集、制作、広告、販売などすべての新聞人は、その責務をまっとうするため、また読者との信頼関係をゆるぎないものにするため、言論・表現の自由を守り抜くと同時に、自らを厳しく律し、品格を重んじなければならない。

藍鴻文訳：

在迎來 21 世紀之際，日本新聞協會的加盟社重新認識報紙的使命，願為富裕、和平的未來而盡力，為此而制定新的倫理綱領。

國民的“知聞權利”是支撐民主主義社會的普遍原理。這種權利是言論、表現自由的根基，具備高度的倫理意識，獨立於一切權利而存在，是這種權利的基本保障。報紙應該成為與此最相適應的承擔者。

在信息爆炸的社會，強烈要求準確地、迅速地判斷什麼是真實的，因該選擇什麼，新聞的責任就是要通過正確而公正的報道、負責任的評論來回答社會的這種要求，履行公眾的、文化的使命。

從事編輯、制作、廣告、銷售的所有報人，為了完成這種職責，為了繼續與讀者保持信賴關係，在遵守言論表現自由的同時，應該嚴格自律，注重品格。

龍一春訳：

在迎來 21 世紀之際，日本新聞協會的加盟社再一次認識到報業的使命並立志為實現和平昌盛的未來而努力，在此特制定新的新聞倫理綱領。

國民的“知情權”是民主主義社會的普遍真理。這一權利只有在自由表達言論的基礎上，在具備了高度的倫理意識的條件下，在存在着獨立於各種權利之外的媒體的環境中才能够得到保障。報紙將致力於維護上述的理念而奮鬥。

在大量的信息飛速流通的現代社會，究竟什麼是真實的？應該如何選擇信息？對信息作出正確和迅速的判斷是時代賦予我們的要求。報紙的責任在於通過正確、公正的報道和負責的評論來回應時代和讀者的期望並承擔起公共的、文化的使命。

編輯、制作、廣告、銷售等所有的新聞從業人員為了完成自己的責任、為了與讀者建立牢固的信賴關係，在維護言論自由的同時，必須嚴以律己，重視維護自己的品格和情操。

ここでは、日本語の「国民」に対して、「人民」と「国民」の二つの訳が見られた。しかし、中国においては基本的に「人民」を使う。それは中国では社会主義思想が支配しているからである。一方、日本では一般的に「国民」を使い、「人民」は政治的色彩を帯びた言葉となる。同じ中国語圏の台湾では「国民」も使い、一般概念の「人民」も使う。また、もう一つ注目したいのは「知る権利」に対する訳語である。藍は「知聞権利」、龍は「知情権」と訳した。中国語訳として一般的なものは「知情権」と「知曉権」であり、現在は前者がより広く使われている。そのため、ここでは、筆者も「知情権」を採用した。

筆者試訳：**《新・报纸伦理纲领》**

在迎接 21 世紀到來之際，日本新聞協會的加盟社為再次理解報紙的使命、為和平的未來作出努力而起誓，在此重新制定新的倫理綱領。

人民的“知情權”是支撐民主主義社會的普遍原理。這一項權利以言論和表現的自由為基礎，具有高度的倫理意識，使獨立於其它權利而存在的媒體得到了基本保障。報紙將繼續作為維護此理念最為合適的中堅力量。

當前信息大量流通的社會賦予了我們要具備“什麼是真實的”、“如何去選擇”、以及“如何正確并

迅速地进行判断”的能力。所谓的报纸的责任和任务是指，正确并公正地报道以及负责任地发表评论。应此要求来完成公共、文化的使命。

包括编辑、制作、广告、销售等的新闻工作人员，应该为认真履行这一责任和任务，同时也为了维护新闻工作人员与读者之间稳固的地位，在坚守言论・表現の自由的同时，应严格自律，重视品格。

① 自由と責任

表現の自由は人間の基本的権利であり、新聞は報道・論評の完全な自由を有する。それだけに行使にあたっては重い責任を自覚し、公共の利益を害することのないよう、十分に配慮しなければならない。

藍鴻文訳：

自由と責任 表現自由是人类的基本权利，报纸拥有报道、评论的完全自由。在行使这种权利之时，必须充分考虑到肩负的重要责任，不得有害于公共利益。

龍一春訳：

自由と責任 表达的自由是人类的基本权利，报纸拥有完全的报道、评论的自由。报纸在行使这一权利时，要保持强烈的责任感和自觉性，必须尽可能地避免损害公共的利益。

この「表現の自由」に対して藍は「表現自由」、龍は「表达的自由」と訳している。中国における一般的表現として「表达权」などがあり、ここでは「表达的自由」と訳するのが妥当であると考えられるので、筆者も「表达的自由」と訳した。

筆者試訳：

自由と責任 表现的自由是人最基本的权利，报纸完全有自由报道新闻并发表评论。在拥有这样的权利的同时，应该认识到自身责任重大，不得妨害公众利益。

② 正確と公正

新聞は歴史の記録者であり、記者の任務は真実の追究である。報道は正確かつ公正でなければならない。記者個人の立場や信条に左右されてはならない。論評は世におもねらず、所信を貫くべきである。

藍鴻文訳：

正确与公正 新闻是历史的记录，记者的任务是追求真实。报道必须正确公正，不应受记者个人的立场、信仰的左右。评论不能谀世，而应该贯彻信念。

龍一春訳：

正确和公正 报纸是历史的记录。记者的任务在于追求报道的真实。报道必须正确并且公正，不能为记者个人的立场和信条所左右。评论也不能为世事所左右，应该保持一贯的立场和态度。

ここでも「新聞」の訳は藍が「新闻」、龍が「报纸」と訳している。筆者は次に「歴史の記録者

であり」が来るので、紙メディアとしての「报纸」と考え、「报纸」を採った。

筆者試訳：

正确与公正 报纸是历史的记录者，新闻记者的任务是追求真实。新闻报道应该正确并公正，不能被记者个人的立场、信条而左右。不能发表趋炎附势的评论，应有自己的正确立场。

③ 独立と寛容

新聞は公正な言論のために独立を確保する。あらゆる勢力からの干渉を排するとともに、利用されないよう自戒しなければならない。他方、新聞は、自らと異なる意見であっても、正確・公正で責任ある言論には、すすんで紙面を提供する。

藍鴻文訳：

独立与寛容 报纸为了保持言论的公正，应确保独立，排除任何势力的干涉，自戒不被利用。另一方面，对待即使是与自己不同的意见，报纸也应该有责任正确、公正、主动地为其提供版面。

龍一春訳：

独立和寛容 为了保障言论的公正性，报纸要确保自身的独立性。在排除来自各方面、各种势力的干涉的同时，还必须保持高度的警戒心以避免被利用。另一方面，即使文章的内容与报社的观点不同，如果该言论秉持了正确、公正和负责的态度，报纸应该提供版面进行刊载。

「正確・公正で責任ある言論」の訳は藍が「有责任正确、公正、主动地」、龍は「正确、公正和负责的态度」と訳している。藍の中国語訳を日本語に反訳すると「正確、公正、主体的に紙面を提供する責任がある」となる。ここでは、筆者は「正确、公正、有责任地」と訳した。

筆者試訳：

独立与寛容 报纸为了发表公正的言论，应确保独立。排除一切势力的干涉，警惕不要被利用。另外，应该正确、公正、有责任地报道、发表与自身有异议的意见。

④ 人権の尊重

新聞は人間の尊厳に最高の敬意を払い、個人の名譽を重んじプライバシーに配慮する。報道を誤ったときはすみやかに訂正し、正当な理由もなく相手の名譽を傷つけたと判断したときは、反論の機会を提供するなど、適切な措置を講じる。

藍鴻文訳：

尊重人权 报纸应对人类的尊严给与最高的敬意，尊重个人的名譽，保护个人隐私。误报时迅速更正，判断出无正当理由伤害对方名譽时，应采取提供申辩的机会等适当措施。

龍一春訳：

人権の尊重 报纸要以最高的敬意对待人间的尊严，尊重个人的名譽和隐私。当报道出现错误时要及时迅速地予以更正。在被认为是没有正当理由地对他人的名譽构成损害时，要为对方提供反驳的机会

并采取适当措施予以处理。

ここの「人權」は筆者も含め「人权」と訳しているが、中国の人權観は基本的に「生存権」と「発展権」を指すものとして考えられており、西側がいう政治的権利としての人権の概念はまだ定着していない。また、「プライバシー」に対しては「隐私」と訳しているが、その定義範囲は日中で異なるため、本来、その説明も必要と思われるが、これについては今後改めて議論したい。

筆者試訳：

尊重人权 报纸应绝对尊重人的尊严，尊重个人名誉，不侵犯个人隐私。出现误报时，应尽快更正。损害他人名誉时，应给对方提供申辩的机会，并采取相应得当的措施。

⑤ 品格と節度

公共的、文化的使命を果たすべき新聞は、いつでも、どこでも、だれもが、等しく読めるものでなければならない。記事、広告とも表現には品格を保つことが必要である。また、販売にあたっては節度と良識をもって人びとと接すべきである。

藍鴻文訳：

品格与节度 履行公共的、文化的使命的报纸，应该是无论何时、何地、何人都能读的。报道、广告都需要表现高尚品格。报纸的销售者与人们接触时也应该具有节度和良识。

龍一春訳：

品格和节度 作为承担了公共文化使命的报纸，必须是任何时候、任何地点、任何人都能平等地进行阅览的读物。刊载文章、广告都应该保持必须的品位。另外，在销售方面，应基于节度和礼貌与订阅方友好相处。

「節度と良識」の訳について、「節度」は藍と龍いずれも「节度」と訳しているが、筆者が知る限りでは今の中国で「节度」という言葉遣いはあまり見られない。だが、同じ漢字による造語のため、「节度」が理解できないことはないと考えられる。しかし、次の「販売」に関連して述べたことであるので、筆者は、ここでは「分寸」と訳したほうがよいと考えた。

筆者試訳：

品格和分寸 报纸应肩负公共、文化的使命，不论任何时间、任何地点、任何人都应该能够平等地阅读报纸。报道的文章以及广告的形式和内容都应该有品位、风度。此外，销售报纸时应有风度、有良知地进行发售和接待订阅人。

おわりに

以上新、旧「新聞倫理綱領」の既存の一部の中国語訳を併記し、検討を加えると同時に、筆者の試訳を提示した。本来はすべての中国語訳を検討対象にすべきであったが、紙面の関係もあり、典型例に限定した。もとより、翻訳というのは、言葉のみならず、文化も訳すことでもある。さら

に、この「新聞倫理綱領」について言えば、日中の「新聞学」をめぐる諸概念の相違もある。一つの言語体系にある言葉、文化、概念を別の言語体系の中に変換する作業は容易なことではない。

本解題で比較検討した中国語訳には優劣はなく、冒頭で「当否」としたのは「原意」への距離感の遠近を測る趣旨であったことでもあり、それぞれの訳者の理解の相違を明らかにするものでもあった。そして、下記にまとめた筆者の試訳も、筆者自身の現時点の「新聞倫理綱領」に対する理解を示したに過ぎないのである。これもよりよい訳文が今後現れることを期待しての一つの営みと考えていただきたい。

「旧・新聞倫理綱領」の張新慧試訳全文

《旧・新聞倫理綱領（1946年7月23日制定 1955年5月15日補正）》

在日本作为民主和平国家重建之际，报纸被赋予了极其重大的使命。为迅速并有效地实现日本重建的目标，报纸应该保持伦理的高水准、提高职业权威、使得其机能完全发挥。

以这样的自我认知为基础，不论经营规模的大小，全国民主主义的日刊报社在此共同建立日本新闻协会，并制定《新闻伦理纲领》作为此协会的指导精神，为践行这一纲领能真挚地付出努力而起誓。我们相信在贯彻本纲领时，所提及的自由、责任、构成以及品格等，并不仅仅用来制约记者的言行，也应平等地鼓励全体新闻工作人员践行。

第1 新闻自由 除妨害公共利益和法律禁止事项以外，报纸享有完全的自由进行报道、发表评论。对法律本身进行批判的自由也包含在内。这里所说的自由作为一项基本人权，应该得到完全的尊重和保护。

第2 报道评论的界限 与报道和评论的自由相对而言，报纸自身应受到如下的约束：

- ・所谓的报道的原则，应遵从事实，正确地传递信息。
- ・新闻报道绝对不能掺杂记者个人的意见。
- ・在处理新闻时，应警惕不要被任何以宣传为目的的人或组织利用。
- ・对他人提出批评时，应当正面指出。
- ・应该持有“故意发表偏离真实的有偏颇的评论，是违反了办报之本”的意识。

第3 评论的态度 发表评论时不能趋炎附势，要勇于表明信念。另外，报道者应该时常站在想要公开发表言论，却缺少平台的人的立场上。具有代表大众申诉的气魄十分重要。发扬报纸高贵的品质，正在于此。

第4 公平 个人名誉作为基本人权应该得到尊重和保护。应该给与受批判的一方申辩的机会。若出现误报，应及时尽快进行更正。

第5 宽容 “在主张自由的同时，也应该认可他人提出的自由”这一项民主主义原理，也应该在报纸编辑时得到体现。对于不同于己见的政策，宽容地匀出版面进行平等地刊登、报道。即民主办报的本质的体现。

第6 指导・责任・荣誉 报社区别于其他企业之处在于，报纸的报道和评论给予大众的影响非常之大。公众主要基于报纸，来了解事件以及问题的真相，并进行判断。新闻事业的公共性由此被认知，同时，新闻从业人员独特的社会地位也由此产生。“责任观”和“荣耀”是确保其地位的两个基本要素。新闻从业人员应该以身作则。

第7 品格 报纸正因为具有指导性，所以必须具有良好的风度。在实践本纲领时，良好的风度应

得到培养。不能很好地实践的单位及其工作人员，则会失去公众的支持、遭到同事、同行的排斥，终究将会无法立足。会员应在道义上的结合、保障采访的自由、制作上提供权宜等措施，来互相帮助，为伦理水平更加向上发展而作出努力。如此，遵守本纲领的报纸的结合，能够促进日本民主化的进步。在完成此使命的同时，也期待日本的报业能够达到世界水平。

「新・新聞倫理綱領」の張新慧試訳全文

《新・新闻伦理纲领》

在迎接 21 世纪到来之际，日本新闻协会的加盟社为再次理解报纸的使命、为和平的未来作出努力而起誓，在此重新制定新的伦理纲领。人民的“知情权”是支撑民主主义社会的普遍原理。这一项权利以言论和表现的自由为基础，具有高度的伦理意识，使独立于其它权利而存在的媒体得到了基本保障。报纸将继续作为维护此理念最为合适的中坚力量。当前信息大量流通的社会赋予了我们具备“什么是真实的”、“如何去选择”、以及“如何正确并迅速地进行判断”的能力。所谓的报纸的责任和任务是指，正确并公正地报道以及负责任地发表评论。应此要求来完成公共、文化的使命。包括编辑、制作、广告、销售等的新闻工作人员，应该为认真履行这一责任和任务，同时也为了维护新闻工作人员与读者之间稳固的地位，在坚守言论·表现的自由的同时，应严格自律，重视品格。

自由与责任 表现的自由是人最基本的权利，报纸完全有自由报道新闻并发表评论。在拥有这样的权利的同时，应该认识到自身责任重大，不得妨害公共利益。

正确与公正 报纸是历史的记录者，新闻记者的任务是追求真实。新闻报道应该正确并公正，不能被记者个人的立场、信条而左右。不能发表趋炎附势的评论，应有自己的正确立场。

独立与宽容 报纸为了发表公正的言论，应确保独立。排除一切势力的干涉，警惕不要被利用。另外，应该正确、公正、有责任地报道、发表与自身有异议的意见。

尊重人权 报纸应绝对尊重人的尊严，尊重个人名誉，不侵犯个人隐私。出现误报时，应尽快更正。损害他人名誉时，应给对方提供申辩的机会，并采取相应得当的措施。

品格和分寸 报纸应肩负公共、文化的使命，不论任何时间、任何地点、任何人都应该能够平等地阅读报纸。报道的文章以及广告的形式和内容都应该有品位、风度。此外，销售报纸时应有风度、有良知地进行发售和接待订阅人。

注

- (1) 張国良の著作は現段階で入手できてない。また、胡興榮と李衍玲の著書に載せられた「新聞倫理綱領」の中国語訳文は周鴻書の訳文と同様である。それ以外の訳文は比較的簡単な紹介であるため、今回の資料解題の対象は周鴻書、梁関と王亜光三人の訳文に限定した。
- (2) 郎劲松と周建明の著作に載せられた訳文は藍鴻文の訳文と同様であるため、今回の資料解題は藍鴻文、龍一春の訳文を対象とする。
- (3) 『現代漢語詞典 第5版』は中国社会科学院言語研究所、商務印書館（出版社）により2005年に出版された。